

共用品推進機構だより 2015年10月02日(24)

## 目次

### (102) 共用品推進機構関連記事

- ▽ 『第41回国際福祉機器展 H.C.R.2015』開催／共用品推進機構
- ▽ 「第52回点字毎日文化賞に田中徹二氏」
- ▽ 「点字毎日文化賞を受賞した日本点字図書館理事長 田中徹二氏」
- ▽ 「NHK『視点・論点』に出演された機構 評議員 田中徹二氏の全文がHPに掲載」

### (103) 賛助会員ニュース

- ▽ 「電子書籍端末、機能絞る／大日本印刷」

### (104) 各種催しとお知らせ

- ▽ 『ユニバーサルデザイン実践講座“障害者差別解消法”の施行にあたって  
今後のサービスのあり方とは?』開催のお知らせ

### (105) 製品関連記事

- ▽ 「協同デザイン車いすを発表／ヤマハ、ヤマハ発動機」

### (106) サービス関連記事

- ▽ 「車いすバス乗り降り楽々 沖縄ツアーで導入／ジャルパック」

### (107) 新刊紹介

- ▽ 『えがおの宝物 進行する病気の娘が教えてくれた「人生で一番大切なこと」』
- ▽ 『大きな字の現代実用国語辞典 第3版 ローラアシュレイ版』
- ▽ 『刻まれた21センチ 血管腫と共に生きる』
- ▽ 『わたしたちの手話学習辞典 1 改訂版』

-----

(102) 共用品推進機構関連記事

▼ 「『第 42 回国際福祉機器展 H.C.R.2015』開催／共用品推進機構」

「第 42 回国際福祉機器展 H.C.R.2015」が開催される。  
主催者が企画展示する東 6 ホール内 特設会場 C 「いつまでも元気で働く 10 のコ  
ツ！展」では機構も協力する。

日時：2015 年 10 月 7 日（水）～9 日（金）10:00～17:00

会場：東京国際展示場「東京ビッグサイト」

〒135-0063 東京都江東区有明 3-10-1

入場料：無料・登録制（一部の講座等は有料）

<http://www.hcr.or.jp/>

▼ 「第 52 回点字毎日文化賞に田中徹二氏」

機構評議員である田中徹二氏が点字毎日文化賞に決まりました。

視覚障害者の文化や教育、福祉の向上に貢献した個人や団体を表彰する  
「第 52 回点字毎日文化賞」受賞者は、電子図書館と情報ネットワーク整備に  
力を尽くした東京の日本点字図書館（日点）理事長、田中徹二氏に決ま  
りました。

大学 1 年時、病気で中途失明した田中氏は都職員などで福祉の仕事に携わり、  
91 年に日点館長、01 年に理事長就任。視覚障害者向けにデジタル録音した図  
書をインターネットで聞けるサービスを構築しました。この技術は現在の「サ  
ピエ図書館」に引き継がれており、さまざまな情報が点字や音声データで提  
供されています。また「アジア盲人図書館協力事業」を企画し、マレーシア  
を拠点に周辺各国での点字資料づくりを実現させるなど、国際協力・海外支  
援に関する功績も顕著です。今年の日点創設者である故・本間一夫の生誕 100  
年にあたり、その精神を継承しつつ、次代を見据えた事業展開も評価されま  
した。

（毎日新聞 2015 年 9 月 27 日 1 面より抜粋）

▼ 「点字毎日文化賞を受賞した日本点字図書館理事長 田中徹二氏」

8月に岩波新書からエッセー「不可能を可能に」を出版した。視覚障害者を取り巻く環境の劇的な変化を、当事者としていち早く体験してきた立場で記録した。副題は「点字の世界を駆けぬける」。タイトルには「『点字』を入れたい」との強い思いがあった。

早稲田大の建築学科に入って間もなく網膜剥離となり20歳前に失明。だが、入院中にすぐ点字を覚えたことで「いろいろな可能性に挑戦できる確信が持てた」。本につづった数々の体験の原点だ。

東京都職員として中途失明者の相談と社会復帰の訓練を長く担当し、56歳の時に日本点字図書館の館長に迎えられた。

特に手腕を發揮したのが、図書製作のデジタル化。今やそのデジタルデータをパソコンや専用端末に配信するシステムも実用化され、一般図書館よりも進んだ電子図書館へと発展している。

理事長として、図書館そのものの存在に加え、事業の多くが支援者の寄付金で運営されてきた75年にわたる歴史の周知に力を入れる。

カギは眼科医が握っていると、リハビリに関わった頃から感じてきた。「中途失明者の利用が少ない。点字の本だけでなく録音図書もあるので、眼科の先生が知っていて紹介してくれれば」見えなくなっても豊かな読書の機会がある。それを導いてくれる社会のつながりを望んでいる。

(毎日新聞 2015年9月27日6面より抜粋)

▼「NHK『視点・論点』」に出演された機構 評議員 田中徹二氏の全文がHPに掲載

機構評議員である日本点字図書館理事長 田中徹二氏がテレビ番組に出演された視点・論点「視覚障害者と読書」放送日9月25日(金)の全文がHPにテキストで掲載されています。

<http://www.nhk.or.jp/kaisetsu-blog/400/228324.html#more>

番組のトップページ

<http://www.nhk.or.jp/kaisetsu-blog/400/>

---

(103) 賛助会員ニュース

▼「電子書籍端末、機能絞る／大日本印刷」

大日本印刷はシニア層でも使いやすい電子書籍端末「ホントポケット」の

拡販に取り組んでいる。あえて機能を最小限に絞り込み、シニア層でも操作しやすくした。これまでは主に一般消費者向けとして販売してきたが、今後は企業にも販路を広げる考えだ。

「インクルーシブデザイン」と呼ばれる手法を採用し、シニア層や障害者などが使いやすいように、あえて機能を絞った。

省いた機能の一つがタッチパネルの操作機能だ。利用者はホントポケットの下部に設けたボタンを操作して、電子書籍を読み進めたり、文字の大きさを変えたりできる。

もう一つが、インターネット経由で電子書籍をダウンロードする機能だ。全100冊入りの「アガサ・クリスティ全集」などをホントポケットにあらかじめプリインストールして販売している。

(日経MJ 9月25日9面より抜粋)

---

#### (104) 各種催しとお知らせ

##### ▼ 『『ユニバーサルデザイン実践講座“障害者差別解消法”の施行にあたって 今後のサービスのあり方とは?』開催のお知らせ』

平成28年4月、障害を理由とする差別の解消を推進することを目的とした、「障害者差別解消法」が施行されます。今後、職場やお店でどのような対応が必要になるのか?など、施行後の対応に関する講演会を開催します。

三島会場：平成27年10月20日(火) 13:30～16:30

三島市民文化会館 大会議室 (三島市一番町20-5)

浜松会場：平成27年10月22日(木) 13:30～16:30

浜松市福祉交流センター 大会議室 (浜松市中区成子町140-8)

静岡会場：平成27年11月10日(火) 13:30～16:30

静岡市清水文化会館マリナート 小ホール

(静岡市清水区島崎町214)

※3会場すべてに手話通訳・要約筆記付き

#### 内容

「障害者差別解消法」の施行にあたって

講師：野澤 和弘 氏 (毎日新聞社論説委員)

障害のある方の姿と暮らしについて

講師：静岡県圏域スーパーバイザー等

定員・対象者

- ・企業、団体等の幹部クラスや実務担当者、接客・サービス業従業員、地域での実践を担う NPO や社会福祉団体等地域団体、市町職員、福祉に関心のある方、UD に関心のある方等
- ・三島会場、浜松会場は先着 100 名
- ・静岡会場は先着 200 名

申込方法：電話、FAX、メールで必要事項を申し込む。

(定員になり次第、締切)

- 1.会社・団体名
- 2.電話・FAX
- 3.E-mail
- 4.参加者氏名
- 5.申込会場、その他（車椅子の利用等）

問い合わせ・申込み先

静岡県くらし・環境部 県民生活課 協働推進班

〒420-8601 静岡市葵区追手町 9-6

TEL：054-221-3153、3642 FAX：054-221-2642

E-mail：shohi@pref.shizuoka.lg.jp

ホームページ

<https://www.pref.shizuoka.jp/ud/udseminar2015.html>

---

(105) 製品関連記事

▼「協同デザイン車いすを発表／ヤマハ、ヤマハ発動機」

ヤマハとヤマハ発動機は 24 日、共同でデザインした電動アシスト車いすのコンセプトモデル「&Y(アンディ)01」を発表した。両社のデザイン部門が協力した。ヤマハ発動機の電動アシスト車いす「JWスウィング」をベースに、ヨットの帆をイメージしたヤマハ製スピーカーを搭載した。

ヤマハとヤマハ発動機はブランドのアピールなどの目的から、お互いの製品をデザインする取り組みを進めている。

(日経産業新聞 9月25日13面より抜粋)

---

(106) サービス関連記事

▼「車いすバス乗り降り楽々 沖縄ツアーで導入／ジャルパック」

ジャルパックは10月1日、沖縄県のバスツアーに車いす用のエレベーターを備えた大型バスを導入する。アクティブシニアと呼ばれる60歳代の高齢者が年齢を重ねる「超高齢社会」に備える。体が不自由な人でも気軽にツアーに参加できるようにして、潜在的な旅行需要を掘り起こす。

バスガイドが三味線演奏と島唄（しまうた）で観光案内するツアー「JAL うたばす」の一部コースで導入する。車いすでも室内やバスルームが使いやすいホテルを手配する。

バスは重さが100kg以下で、高さ1.6m、奥行き1.2m、幅70cmまでの車いすに対応する。車いすの参加者は1日1人限定とする。バスの乗降は参加者自身か、同伴者による介助で実施してもらう。

旅行各社は超高齢社会への対応を急いでおり、車いす用エレベーター付きバスは、旅行大手のクラブツーリズムも導入している。

(日経MJ 9月25日9面より抜粋)

---

(107) 新刊紹介

▼『えがおの宝物 進行する病気の娘が教えてくれた「人生で一番大切なこと」』

10代で亡くなることもある難病「福山型先天性筋ジストロフィー」を患う娘を持つ母親が、これまでの歩みと、娘の病気によって気づいた大切なことを綴る。どん底から這い上がるきっかけとなった心理学や「親業」の手法も紹介。

著：加藤さくら（かとう・さくら）

発行：光文社

本体価格：1500円（税別）

ISBN：978-4-334-97835-8

▼『大きな字の現代実用国語辞典 第3版 ローラアシュレイ版』

日常生活に役立つ 32500 語を収録した、見出し語がくっきり大きく見やすい国語辞典。言葉の意味は主要なものに絞り、適宜用例や対義語も付す。巻末に「常用漢字一覧」「カタカナ語」「アルファベット略語」を掲載。初版：学研 2001 年刊。

編：学研辞典編集部

発行：学研教育出版

本体価格：1050 円（税別）

ISBN：978-4-05-304235-4

▼『刻まれた 21 センチ 血管腫と共に生きる』

「左下肢軟部腫瘍・血管腫」スポーツが大好きで、高校でバスケットに入った私は、ある日思いがけない病名を告げられた。友情、青春、感動。4 度の手術を越えて羽ばたいた女性の闘病記。

著：玉元三奈美（たまもと・みなみ）

発行：文芸社

本体価格：1200 円（税別）

ISBN：978-4-286-15254-7

▼『わたしたちの手話学習辞典 1 改訂版』

日常広く使用されている手話を中心に約 3500 語を、手の形からも引けるように整理して収録。全国手話検定試験の級表示、国際手話の指文字、手話やろう者に関する豆知識も掲載する。

編集：大杉豊（おおすぎ・ゆたか） 関宜正（せき・よしまさ）

発行：全日本ろうあ連盟

本体価格：2600 円（税別）

ISBN：978-4-904639-12-2

---

（編集後記）

前回ご報告した、「公共空間の音案内」と「トイレ操作部の配置」の規格に続き、今月「コミュニケーション支援用ボード」と「触知案内図」の DIS 投票（国際規格案投票）が終了しました。どちらに対しても反対投票はなく、投票は承認され、国際規格発行への準備ができることになりました。「コミュ

ニケーション支援用ボード」につきましては、前回の国際会議でほぼ同意がとれていますので、準備を進めることに問題はありませんが、「触知案内図」につきましては、前回の国際会議で意見の相違があり、それを調整する必要があるため、10月8日、9日に当機構で第3回触知図国際WG会議を開催する予定になっております。この会議には、日本以外に、ドイツ、スウェーデン、中国の専門家が参加する予定であり、規格案の最終合意を得て、国際規格発行に向けての準備を進めることにしております。(松岡 光一)

共用品推進機構公式サイト <http://www.kyoyohin.org/>

共用品ニュース (ブログ) <http://www.kyoyohin-news.org/>